連携中枢都市宣言書

平成 27 年 12 月 4 日
金沢市

連携中枢都市宣言

我が国は、本格的な人口減少社会を迎えており、国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計によると、2060 年には約 8,600 万人まで減少するとともに、65 歳以上の高齢人口の割合は約 40%へ大幅に上昇すると見込まれています。同時に、東京圏への一極集中はさらに進み、そのことがまた人口減少に拍車をかけるという悪循環を引き起こします。このような人口減少は、その過程において高齢化を必然的に伴うことから、経済規模の縮小や生活水準の低下を招き、経済社会の持続性すら危うくするものです。

国では、このような認識を国民と共有し、未来に向けた目指すべき方向を指し示すため、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を策定するとともに、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への一極集中を是正するための施策の方向性を明示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その中で、「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」の活性化につなげるため、時代に即した地域間の連携により、自立的な経済・生活圏を形成する「連携中枢都市圏構想」を推進していくこととしています。

この連携中枢都市圏構想の意義は、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することにあり、本市においても自らの市域のみならず、圏域全体を見据えた市政運営が求められています。

幸い、本市と連携市町で構成する「石川中央都市圏」は、日本海や白山、河北潟等豊かな自然環境に恵まれるほか、加賀百万石の歴史文化が色濃く残るとともに、高等教育機関が集積するなど、全国に誇るべき独自の地域資源を有しており、これまでも、このような個性や強みを活用しながら、多様な分野の連携に取り組んできました。

折しも、本年３月に北陸新幹線の金沢開業を迎え、多くの来街者がこの圏域を訪れており、この機を逸することなく、交流人口のみならず定住人口の増加につなげ、圏域の拠点性を高めていくことが重要です。

このようなことから、近隣市町と連携し、人口減少社会にあっても、充実した生活を過ごすことができる持続可能な圏域をめざすとともに、圏域の強みである住みやすさに一層磨きをかけていきたいと考えており、そのために、本市は、地域経済の牽引や都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上などの面で、連携中枢都市としての役割を果たしていくことをここに表明いたします。

平成２７年１２月４日

金沢市長　**山野　之義**

１．圏域の現在の人口と将来推計人口

（人）　（%）

区分	平成22年 (2010年)	平成32年 (2020年)	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)	増減率
金 沢 市	462,361	460,444	443,925	417,156	▲9.8%
白 山 市	110,459	108,868	104,119	97,028	▲12.2%
かほく市	34,651	33,254	30,891	28,008	▲19.2%
野々市市	51,885	55,950	58,084	58,569	12.9%
津 幡 町	36,940	37,555	37,014	35,680	▲3.4%
内 灘 町	26,927	26,273	24,684	22,475	▲16.5%
圏 域 計	723,223	722,344	698,717	658,916	▲8.9%
対平成22年 増減率(%)		▲0.1%	▲3.4%	▲8.9%	

（人）　（%）

石川県	1,169,788	1,128,068	1,059,630	974,370	▲16.7%
対平成22年 増減率(%)		▲3.6%	▲9.4%	▲16.7%	

（千人）　（%）

全　国	128,057	124,100	116,618	107,276	▲16.2%
対平成22年 増減率(%)		▲3.1%	▲8.9%	▲16.2%	

※国立社会保障・人口問題研究所発表資料（平成 25 年 3 月）より
※推計値は、出生中位・死亡中位仮定によるもの
※平成 32 年以降の増減率は、平成 22 年対比の値
※「増減率」は、平成 52 年対平成 22 年比の値

２．圏域の都市機能の集積状況・利用状況等

（１）医療・福祉

① 医療

（ア）圏域内の医療施設・医師数

（所、床、人）

区分	病院	病床数	診療所	病床数	医師	保健師
金　沢　市	45	9,915	401	591	1,797	152
白　山　市	4	539	65	69	148	48
かほく市	3	639	24	－	39	20
野々市市	4	574	46	83	71	21
津　幡　町	2	159	24	3	31	15
内　灘　町	2	915	14	－	409	20
圏　域　計	60	12,741	574	746	2,495	276

※2013 年（2015 年刊）石川県統計書より

（イ）圏域の医療機関

【救急医療】

第三次救急医療機関	金　沢　市	石川県立中央病院、金沢大学附属病院
	内　灘　町	金沢医科大学病院
第二次救急医療機関	金　沢　市	浅ノ川総合病院、石川県済生会金沢病院、石川県立中央病院、石田病院、映寿会みらい病院、金沢有松病院、国立病院機構金沢医療センター、金沢循環器病院、金沢市立病院、金沢聖霊総合病院、金沢赤十字病院、国立大学法人金沢大学附属病院、金沢西病院、金沢宗広病院、木島病院、恵寿金沢病院、城北病院、整形外科米澤病院、地域医療機能推進機構金沢病院、藤井脳神経外科病院、北陸病院、南ヶ丘病院、加藤整形外科医院、さがら整形外科医院、高田整形外科内科医院、細川整形外科医院、三秋整形外科医院、森下整形外科医院
	白　山　市	公立つるぎ病院、公立松任石川中央病院、新村病院
	野々市市	金沢脳神経外科病院、ののいち白山醫院
	津　幡　町	河北中央病院
	内　灘　町	金沢医科大学病院
休日夜間急患センター	金　沢　市	金沢総合健康センター夜間急病診療所

※石川県ホームページ「二次救急医療を担う医療機関」（平成 27 年 8 月時点）より

【周産期医療】

総合周産期母子医療センター	金　沢　市	いしかわ総合母子医療センター
高度（地域）周産期母子医療センター	金　沢　市	金沢大学附属病院、国立病院機構金沢医療センター
	内　灘　町	金沢医科大学病院

※平成 25 年４月　石川県医療計画より

【小児救急医療体制】

休日当番医制	金沢市（日中）、白山市・野々市市(午前)
休日夜間急患センター	金沢総合健康センター夜間急病診療所
高度専門小児医療機関	石川県立中央病院、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、 国立病院機構金沢医療センター

※平成 25 年４月　石川県医療計画より

【災害医療】

災害拠点病院	（金沢市）石川県立中央病院、国立病院機構金沢医療センター、 金沢赤十字病院、金沢市立病院 （白山市）公立松任石川中央病院

※平成 25 年４月　石川県医療計画より

② 福祉

（ア）圏域内の福祉施設・入所定員

（施設、人）

区分	保育所	定員	児童養護施設	定員	乳児院・助産施設	定員
金　沢　市	112	11,540	4	196	4	51
白　山　市	32	3,740	－	－	1	7
かほく市	10	1,140	－	－	－	－
野々市市	14	2,000	－	－	－	－
津　幡　町	12	1,584	－	－	－	－
内　灘　町	8	970	－	－	－	－
圏　域　計	188	20,974	4	196	5	58

区分	老人ホーム	定員	老人福祉センター	定員	老人憩いの家	定員
金　沢　市	85	5,340	5	－	16	－
白　山　市	14	853	8	－	3	－
かほく市	4	216	2	－	－	－
野々市市	12	830	1	－	－	－
津　幡　町	3	160	－	－	1	－
内　灘　町	3	117	－	－	－	－
圏　域　計	121	7,516	16	－	20	－

区分	介護老人保健施設	定員	介護療養型医療施設	定員	地域包括支援センター	定員
金　沢　市	11	1,309	8	385	19	－
白　山　市	2	187	－	－	1	－
かほく市	－	－	2	116	1	－
野々市市	3	219	－	－	1	－
津　幡　町	1	50	－	－	1	－
内　灘　町	1	100	1	20	1	－
圏　域　計	18	1,865	11	521	24	－

※平成 27 年版　石川県市町要覧より

（２）教育

① 教育機関数

（園、校）

区分	幼稚園数	小学校数	中学校数	高等学校数
金 沢 市	36	59	29	20
白 山 市	6	19	10	4
かほく市	2	6	3	―
野々市市	2	5	2	1
津 幡 町	2	9	2	1
内 灘 町	1	6	2	1
圏 域 計	49	104	48	27

※平成 27 年度　学校基本調査（速報値）：12 月確定値

② 高等教育機関の名称・学生数等

（人）

区分	高等教育機関名	主な学部、学科等	学生数
金 沢 市	金沢大学	人間社会学域、理工学域、医薬保健学域	10,272
	金沢星稜大学	経済学部、人間科学部、女子短期：経営実務科	2,628
	北陸大学	薬学部薬学科、未来創造学部	2,045
	金沢学院大学	文学部、経営情報学部等、短期：食物栄養学科等	2,120
	北陸学院大学	人間総合学部、短期：コミュニティ文化学科等	782
	金沢美術工芸大学	美術工芸学部　美術科、デザイン科、工芸科	730
	金沢工業高等専門学校	電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報工学科	565
白 山 市	金城大学	社会福祉学部、医療健康学部等、短期：美術学科等	1,093
かほく市	石川県立看護大学	看護学部看護学科	396
野々市市	金沢工業大学	工学部、情報フロンティア学部、環境・建築学部等	7,356
	石川県立大学	生物資源環境学部	579
津 幡 町	石川工業高等専門学校	電気工学科、環境都市工学科、建築学科等	1,102
内 灘 町	金沢医科大学	医学部医学科、看護学部看護学科	981
圏 域 計			30,649

※各高等教育機関ホームページより

※学生数は大学・短大・大学院合計（平成 26 年または平成 27 年値）

（３）文化・観光

① 文化・スポーツ施設

（施設、冊、人）

区分	図書館			博物館	陸上競技場	体育館
		蔵書冊数	登録者数			
金 沢 市	7	2,200,022	231,826	9	3	19
白 山 市	5	519,642	47,114	3	1	25
かほく市	1	155,319	14,364	1	1	11
野々市市	1	84,493	9,555	－	－	2
津 幡 町	1	122,873	28,365	－	1	3
内 灘 町	1	116,795	17,415	－	1	3
圏 域 計	16	3,199,144	348,639	13	7	63

区分	プール	野球・ソフト・球技場	テニスコート	武道場	ゲートボールコート	スキー場
金 沢 市	12	29	10	2	5	1
白 山 市	10	7	13	7	4	5
かほく市	2	3	1	3	－	－
野々市市	4	6	2	2	1	－
津 幡 町	－	7	3	3	4	－
内 灘 町	1	1	2	2	1	－
圏 域 計	29	53	31	19	15	6

※平成 27 年版　石川県市町要覧より

② 発地別観光入り込み客数

（千人）

発地	圏域計		金沢地域		白山地域	
	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年
県　　内	4,079	3,952	3,562	3,503	517	449
県　　外	5,074	5,383	4,678	4,939	396	444
富　山　県	361	356	329	322	32	34
福　井　県	343	341	288	284	55	57
関　　東	1,364	1,441	1,311	1,390	53	51
中　　京	760	848	675	721	85	127
関　　西	1,029	1,073	906	956	123	117
その他県外	1,217	1,324	1,169	1,266	48	58
合　　計	9,153	9,335	8,240	8,442	913	893

※平成 26 年「統計からみた石川県の観光」より

※「金沢地域」は金沢市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町と白山市のうち旧松任市、旧美川町を含む範囲。

※「白山地域」は白山市のうち旧鶴来町、旧河内村、旧鳥越村、旧吉野谷村、旧尾口村、旧白峰村を含む範囲。

※「関東」は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県。

※「中京」は愛知県、岐阜県、静岡県、三重県。

※「関西」は大阪府、京都府、兵庫県、和歌山県、奈良県、滋賀県。

【主な観光地】

金 沢 市	兼六園、金沢城公園、成巽閣、長町武家屋敷跡、県立美術館、県立歴史博物館、金沢くらしの博物館、金沢市老舗記念館、寺島蔵人邸、ひがし･にし･主計町茶屋街、加賀友禅伝統産業会館、尾山神社、妙立寺、天徳院、近江町市場、湯涌温泉、中村記念美術館、安江金箔工芸館、泉鏡花記念館、室生犀星記念館、徳田秋聲記念館、鈴木大拙館、金沢蓄音器館、金沢文芸館、金沢卯辰山工芸工房、金沢湯涌江戸村、金沢湯涌夢二館、金沢湯涌創作の森、金沢ふるさと偉人館、前田土佐守家資料館、金沢 21 世紀美術館、金沢能楽美術館、石川四高記念文化交流館、県立伝統産業工芸館、藩老本多蔵品館、石川県金沢港大野からくり記念館、石川県銭谷五兵衛記念館、寺町台重要伝統的建造物群保存地区、卯辰山麓重要伝統的建造物群保存地区、本多の森公園　など
白 山 市	白山国立公園、白山温泉郷、手取峡谷・綿ヶ滝、松任海浜公園、小舞子海岸、白山麓スキー場群、白山白川郷ホワイトロード、白山恐竜パーク白峰、白峰重要伝統的建造物群保存地区、吉野工芸の里、白山吉野オートキャンプ場、鳥越城跡、白山比咩神社、獅子吼高原、ふれあい昆虫館、石川ルーツ交流館、千代女の里俳句館、白山ろくテーマパーク吉岡園地、呉竹文庫、松任中川一政記念美術館、太鼓の里体験学習館　など
かほく市	石川県西田幾多郎記念哲学館、喜多家しだれ桜、上山田貝塚、大海西山弥生の里、うみっこらんど七塚、高地谷林道「桜の道」、七塚中央公園、白尾灯台、能登街道　など
野々市市	御経塚遺跡・ふるさと歴史館、末松廃寺跡、喜多家住宅、郷土資料館、本町通り　など
津 幡 町	倶利迦羅不動寺、倶利迦羅不動尊西之坊鳳凰殿、龍ヶ峰城跡公園、歴史国道「北陸道」、倶利伽羅公園、石川県森林公園、三国山キャンプ場、ひまわり村、河合谷・木窪大滝、峨山禅師生誕地、滝の谷霊水、河合谷の郷即売所、新幹線の見える丘公園　など
内 灘 町	内灘砂丘･海岸、サンセットブリッジ内灘、道の駅内灘サンセットパーク、内灘町総合公園、風力発電所、歴史民俗資料館「風と砂の館」、ハマナス群生地、井上靖文学碑、河北潟周辺、恋人の聖地　など

※平成 27 年版　石川県市町要覧より

（４）産業

① 農業・工業・商業の状況

（所、人、千万円）

区分	農　業		製　造　業			商　業		
	農家数	産出額	事業所数	従業者数	出荷額等	事業所数	従業者数	商品販売額
金 沢 市	3,212	707	795	18,670	40,145	7,122	53,931	278,690
白 山 市	1,815	690	396	18,432	46,075	1,150	8,357	25,303
かほく市	747	186	210	4,157	10,580	373	1,845	3,587
野々市市	312	38	52	1,636	2,634	623	6,196	26,624
津 幡 町	1,014	195	77	2,112	4,085	241	2,211	5,599
内 灘 町	186	207	27	347	347	171	1,017	1,623
圏 域 計	7,286	2,023	1,557	45,354	103,866	9,680	73,557	341,426
石 川 県	26,411	5,904	3,017	93,928	242,427	16,564	107,999	415,762

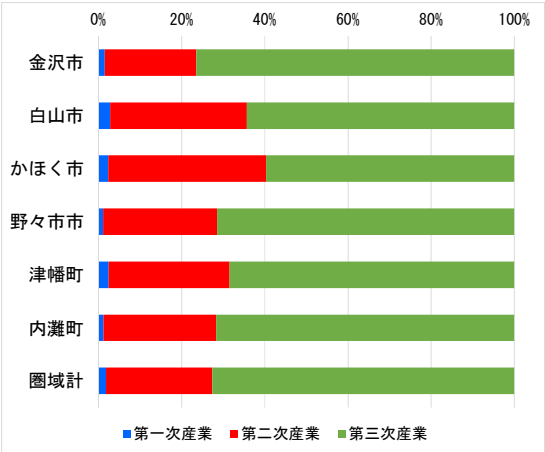
※2013年（2015年刊）石川県統計書より、ただし農業産出額は平成27年版　石川県市町要覧より

② 就業人口比率

（%）

区分	就業人口		
	第一次産業	第二次産業	第三次産業
金　沢　市	1.5	22.0	76.5
白　山　市	2.9	32.8	64.3
か　ほ　く　市	2.4	37.9	59.7
野　々　市　市	1.1	27.4	71.5
津　幡　町	2.4	29.1	68.5
内　灘　町	1.2	27.1	71.7
圏　域　計	1.8	25.6	72.6

※平成22年　国勢調査より



③ 主な大型商業施設（店舗面積 10,000 ㎡以上）

区分	店　舗　名
金 沢 市	ＪＲ金沢駅ＮＫビル、アークプラザ金沢、アピタ金沢店、 アル･プラザ金沢、イオン金沢店、イオン杜の里ショッピングセンター、 金沢高架下開発ビルＢ・Ｃブロック、香林坊アトリオ、 香林坊第一開発ビル（香林坊１０９）、東京インテリア家具金沢店、 めいてつエムザ、ラパーク金沢店、ラブロ片町、
白 山 市	イオン松任ショッピングセンター、フェアモール松任
かほく市	イオンかほくショッピングセンター
野々市市	イオン御経塚店、イオン野々市南店
津 幡 町	SUPER CENTER PLANT-3 津幡店、アルプラザ津幡、 コメリホームセンター津幡店
内 灘 町	コンフォモール内灘

※石川県ホームページ「大規模小売店舗一覧（平成27年３月31日現在）」より

（５）交通

① 交通インフラの状況

区分	主な路線等
高速道路	北陸自動車道（金沢森本 IC、金沢東 IC、金沢西 IC、白山 IC、徳光 SIC、美川 IC）
JR 西日本	北陸新幹線（金沢駅） 北陸本線（金沢駅、西金沢駅、野々市駅、松任駅、加賀笠間駅、美川駅、小舞子駅） 七尾線（津幡駅、中津幡駅、本津幡駅、能瀬駅、宇野気駅、横山駅、高松駅）
IR いしかわ鉄道	IR いしかわ鉄道（金沢駅、東金沢駅、森本駅、津幡駅、倶利伽羅駅）
北陸鉄道 （路線と主な駅名）	石川線（野町駅、新西金沢駅、野々市駅、野々市工大前駅、四十万駅、陽羽里駅、鶴来駅） 浅野川線（北鉄金沢駅、割出駅、蚊爪駅、内灘駅）
路線バス （事業者名とエリア）	北陸鉄道（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町） 西日本 JR バス（金沢市） 加賀白山バス（金沢市、白山市） 北鉄能登バス（金沢市、かほく市、内灘町）
コミュニティバス	金沢市（ふらっとバス） 白山市（めぐーる） かほく市（かほく市営バス） 野々市市（のっティ） 津幡町（津幡町営バス） 内灘町（なだバス ナディ）

※各社ホームページより

② 鉄道の利用状況（１日あたりの乗車人数）

【JR 北陸本線】 （人／日）

駅名	乗車人数
美　川	807
加賀笠間	1,533
松　任	3,095
野々市	1,541
西金沢	2,458
金　沢	20,785
東金沢	2,570
森　本	1,643
津　幡	2,355

【JR 七尾線】 （人／日）

駅名	乗車人数
本津幡	487
宇野気	1,275
高　松	572

【北陸鉄道】 （人／日）

乗車人数
7,501

※2013年（2015年刊）石川県統計書より

※北陸新幹線開業前の値のため、金沢駅以東はJR北陸本線に含まれる。

※北陸鉄道の乗車人数は石川線及び浅野川線の平成25年度の乗車人員2,738千人を365日で除した値。

３．近隣市町と連携して取り組むことを想定する分野

（１）圏域全体の経済成長のけん引

① 産学金官民一体となった経済成長の推進

② 新規創業促進及び地域産業の振興

③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

④ 戦略的な観光施策の推進

⑤ その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

（２）高次の都市機能の集積・強化

① 高度な医療・救急サービスの提供

② 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

③ 高等教育・研究開発の環境整備

④ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策

（３）圏域全体の生活関連機能サービスの向上

① 地域医療及び介護・福祉サービスの充実

② 教育・文化・スポーツの振興

③ 広域的な土地利用・地域振興

④ 災害対策

⑤ 環境対策

⑥ 地域公共交通の充実

⑦ 道路・ＩＣＴなど社会インフラの整備

⑧ 地産地消の推進

⑨ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑩ 人材の育成とネットワーク構築

⑪ その他、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る施策

４．本市（連携中枢都市）への通勤通学割合

本市に対して従業又は通学する就業者数及び通学者数を常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値が０．１以上である市町の名称

（人）

	金沢市への通勤・通学者数①	常在する就業者・通学者②	うち自宅で従業等③	通勤・通学割合（①÷（②－③））
白　山　市	18,071	62,913	5,215	0.31
かほく市	5,414	19,210	2,172	0.32
野々市市	11,043	30,748	1,712	0.38
津　幡　町	9,363	21,152	1,459	0.48
内　灘　町	7,802	15,425	1,118	0.55
能　美　市	3,192	27,407	2,507	0.13
羽　咋　市	1,118	11,815	1,506	0.11
宝達志水町	1,105	7,313	896	0.17
川　北　町	766	3,457	304	0.24

※平成 22 年国勢調査より。

※下線の都市は、連携が想定される都市。